



安東学区

第38号

社協だより

広島市安佐南区安東学区社会福祉協議会

編集 広報委員会

赤い羽根テーマ募金



安佐中部活に300万円余を寄贈

昨年の「安東学区社協だより」でお願いしました赤い羽根共同募金地域テーマ募金。『安佐中学校課外活動支援プロジェクト』に当学区内の各町内会・自治会や篤志家のみなさんには、心温まるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

実施主体となった安佐中学校部活動支援推進会議は、毘沙門台・緑井・大町各学区社会福祉協議会と当安東学区社会福祉協議会が一致協力。同プロジェクトに150万円余の募金が集まり、県共同募金会に申請。同プロジェクトへ300万円の助成があり、安佐中学校の課外活動団体である運動部、文化部計16団体すべてに対し、計300万円余を寄贈しました。

このたびの活動が地域社会への貢献として認められ

昨年11月21日に広島市長公室で松井一實市長から感謝状を拝受しました。(写真左下)

これは、ひとえに私どもの活動を信じ、ご賛同くださり、ご協力をいただいたみなさんの温かいお気持ちの評価されたものと大変光栄に感じております。

安佐中学校からも「みなさんからの温かいご支援のおかげで、部員たちはより一層練習に励み、元気に活動しています。地域のみなさんに支えられているという感謝の気持ちを忘れず、これからも活動に取り組んでまいります。本当にありがとうございました」とのメッセージをいただきましたので報告させていただきます。



あとがき ことは60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年。過去には、迷信の影響で出生数が激減したことが知られています。しかし、現代では迷信は薄れ、火のエネルギーが最大になる年として、停滞を打ち破り、大きな変化や行動を起こすチャンスとされています。さる12月の定例理事会で提案しました「ひろしま LMO（エルモ）」について、当社協の現状や課題を把握し、理事全員の総意で本年中の設立を目指したいと思いますので、積極的なご意見を期待しております。

安東学区社会福祉協議会 会長 竹本久男

ふれあいサロン交流会を開催

第 6 回ふれあいサロン交流会を 10 月 31 日に開催。会場にはサロンの仲間や世話役が集い、安東学区社会福祉協議会の竹本会長のあいさつで開幕。

安佐・安佐南包括支援センターの中野浩子さんが「百歳体操の振り返り」で、各町内会・自治会の百歳体操への取り組みまでの道のりを紹介。「安東学区では、全域で百歳体操に取り組んでいる。今後継続していくための新たな進展が必要では」との提案がありました。続いて安佐南区社会福祉協議会の村上裕香子さんから「サロンへの協力体制」で、町内会や自



治会のサロンへの補助金制度や貸し出しできる遊具（ボッチャ・モルック・ボーリング等）を紹介。午前中の最後は各サロンの現状の参加者の人数やサロンを盛り上げるための新たな取り組み等が報告されました。

昼食後は、秋風亭で朝師匠が「時そば」を演じながら屋台のそば屋の店主をだまそうとする与太郎のだまし手口「ところでいまなんどき」「へえ、四つでございます」と正しい時刻を言われて逆に 16 文のそば代に 20 文を払う小話で詐欺への注意をおもしろおかしく演じられました。



受賞おめでとうございます

令和七年度広島県社会福祉大会で、安東学区社会福祉協議会副会長の小泉紳二さんに広島県社会福祉協議会会長表彰状が授与されました。

令和七年度広島市社会福祉大会では、安東学区女性会の河野博子さん（広島市社会福祉協議会推薦）、安東学区社会福祉協議会理事の川口淑子さん（広島市民生委員児童委員協議会推薦）に広島市社会福祉協議会会長表彰状が授与されました。

令和七年度広島市公衆衛生委員大会では、安東学区社会福祉協議会理事の河内龍夫さん、安東学区社会福祉協議会理事の永中憲成さんに広島市公衆衛生推進協議会会長表彰状が授与されました。

花いっぱい運動に参加

安東学区は、令和 2 年度に安佐南区社協の新規取り組み活性化事業助成金を活用し、花いっぱい運動を始めました。今年度からは南部山自治会、弘億団地自治会の参加を機に、安佐南区花いっぱい運動への参加を申請しました。中央グリーンハイツ、弘億団地、鯛之迫、南部山、スカイハイツ相田、七塚下組の 6 カ所の公園花壇や私有地の花壇、プランターが「登録花壇」になりました。今後も登下校する児童や学生、通行される皆さまに喜んでいただける運動として継続します。花の世話や植え替えの作業に参加していただけるボランティアには、いきいき活動ポイントが付与されます。



安東学区避難所運営本部&防災リーダー会

避難所運営ゲームを実施

令和 7 年 1 月 29 日（土）、図上で行う避難所運営ゲーム（Hinanjyo Unei Game）を実施した。HUG は静岡県が避難者運営をみんなで考えるためのアプローチとして考案したゲーム。カード（250 枚）を使用した避難者受け入れ、避難所のレイアウト、人員の配置等を速やかに決めていく訓練です。今回の HUG は安佐南区役所地域起こし課の 4 人の職員が休日返上で地域に出向いてゲームの進行役（カードを読み上げる係）を務めてくださいました。読み手はカードを順番に次々に読み上げ、プレーヤーに手渡して行きます。

1 世帯（1 グループ）をまとめて読み上げます。読み手はグループのプレーヤーがカードを図上に置き終わる前に次のカードを読み上げていきます。災害時の避難者は待つはくれません。図上にカードを全部配置したらゲームは終了です。ゲームに参加しての感想ですが、カードで示される避難地域、氏名、性別、年齢、家族構成、健康状態、国籍、ペットの有無等の情報を正確につかみ、場所を配分して行きます。また避難所の備蓄倉庫物資の適宜活用も大切です。

毛布、組立式簡易トイレ、目隠しテント、発電機・ハロゲン投光器、手回し充電器ラジオ・ライト等の活用で避難者の要望に答えることが重要です。

まずは避難者優先で速やかに配置場所を決めて行き、より有効な策が見つければ後からでも場所を移動することができます。また、避難所での不安な心理状態を和らげるためには、正確な情報提供が大切で掲示板を活用しながら提供可能な生活支援や避難所内でのルール等の連絡を速やかに伝えます。



安東学区防犯組合

防犯講習会 オレオレ詐欺

安東学区防犯組合・安東公民館共催の地域防犯講習会を安東公民館で開催。ゲストに迎えたギター漫談家の風呂哲州さんが「オレオレ詐欺」の演題で熱演。巧妙な詐欺の手口を歌に合わせて披露。

会場は拍手であふれました。安佐南警察署安交番から令和 7 年 1 月から 9 月までの安佐南区内の小学校区別犯罪発生状況が報告され、安東学区では自転車盗難、器物損壊、万引き等の犯罪が発生。また、詐欺事件では安佐南区管内だけで 18 件 7,439 万円（9 月末）の被害がでている。特に警察官を名乗る「ニセ警察詐欺」が多発中。「警察が絶対にお金を要求することはありません」と。

SNS 型投資、ロマンス詐欺にもご注意ください！



年末統一パトロール

令和 7 年 12 月 14 日（日）に恒例の年末統一パトロールを実施。中央グリーンハイツ、鯛之迫、弘億団地、南部山・すみれが丘、相田各地区のコースに分かれて、年末年始の防犯対策を呼びかけました。





～～地域とのふれあいと遊びところで笑顔になろう～～
ひろおくだんち ふれあい作品展開催



■開催日時：2025年11月2日（日） 10時～15時 ■開催場所：弘億第1自治会館・隣接公園

■主催：弘億友遊会 共催：弘億子ども会 協力：弘億団地自治会 協賛：団地食堂 心なき福祉園



イベント日和に恵まれ、初めての企画となる弘億団地自治会、弘億子ども会、弘億友遊会合同の「ふれあい作品展」を開催しました。

会場へは早くから多くの人にご来場いただき、テーマとした“ふれあい・遊びこころ・笑顔”にあふれた楽しいイベントとなりました。そして何よりも驚いたのはこんなにたくさん子どもたちが同じ団地に住んでいるのかと思ったことです。

これからも、こうしたイベント等を通してより一層地域の絆を強固なものにしていきたいと思っています。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

弘億友遊会 会長 大橋路信



鯛之迫町内会

ふれ^{あい}愛夏祭りを開催

令和7年8月23日(土)

待ち焦がれていた耐震工事が完了し、リニューアルした鯛之迫集会所のお披露目も兼ねて夏祭りを開催しました。隣接の鯛之迫第3公園では弘億団地の団地食堂さんが焼きそば・枝豆・生ビールを販売。町内会も売店を開きました。集会所の1階ではポッチャ大会、2階では千本釣り＆射的ゲームを開催。多くの子どもたちが笑顔で楽しんでいました。花火やビンゴ大会も企画されて、近隣からの参加者も交えてふれ愛の夏まつりとなりました。

鯛之泊集会所耐震工事完了

耐震工事が令和7年6月に完了。ホール、諸室やトイレが改装され、裏口の階段にも手すりが完備されました。トイレは広々とした多目的トイレに生まれ変わり、障害者、高齢者に配慮した設備になりました。

使用料金が改定されて、住民の皆さまに楽しんで使用していただける施設になりました。

